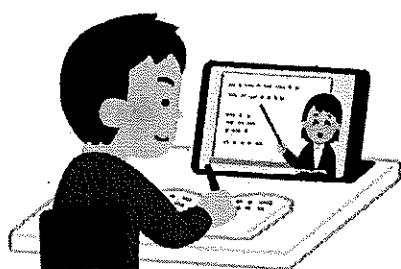




令和8年度

# 学習の手引き

## 1年生



津市立東橋内中学校

## 目次

はじめに	.....	1
1. 中学校の勉強について	.....	1
2. 家庭学習、家庭学習習慣について	.....	2
3. 学習評価について	.....	3
4. 勉強の仕方、ポイント、アドバイス	.....	5
5. なぜ勉強する必要があるのか	.....	6
6. 東橋内中学校独自のインターネットを活用した授業について	..	6
特別活動について、特別の教科道徳について	.....	7
<b>シラバス</b>		
○国語科	.....	8
○社会科	.....	10
○数学科	.....	12
○理科	.....	14
○外国語科	.....	16
○技術・家庭科(技術分野)	.....	19
○技術・家庭科(家庭分野)	.....	21
○保健体育科	.....	23
○音楽科	.....	25
○美術科	.....	27
○特別支援教育について	.....	29
○国際教室について	.....	30
おわりに		

## 0. はじめに

中学校の学習では、生徒が将来自立した社会人として自分の人生を主体的に歩いていくための基礎となる「学力」\*1を育みます。その中、令和3年度4月から改訂学習指導要領が全国一斉に実施されています。この改訂により、今までと学習内容と学習評価が大きく変わりました。また、本校では、生徒の潜在的な可能性を見つけ育み、未来を自分の力で切り拓いていける生徒の育成を目指しております。

このことから、改めて東橋内中学校の学習活動、学習評価について保護者の皆様や生徒の皆さんと共有し、生徒一人ひとりにあった適切な指導、評価をしていきたいという思いで本書を作成いたしました。

\*1 「学力」とは、教科の知識や未知の問題に対して継続的に解決する力等のことです。

## 1. 中学校の勉強について

中学校の教科は、国語、数学、社会、理科、音楽、美術、保健体育、技術・家庭、英語の9教科10科目となります。小学校よりも科目数が多くなり、内容もとても難しくなります。小学校に比べて進むスピードも速くなり、授業だけでは追いつかなくなります。そのため、家庭での「予習・復習」が大切です。例えば、「法隆寺」を見学する場合、何も学習せずに観に行くと、ただの古い建物としか思いません。しかし、前もって調べ学習をしておく、「世界最古の木造建築物」や「聖徳太子が建築したこと」など事前に知識を入れて実際に見ることができるので、見方が変わってきます。これが、「予習」のすごさです。予習では、次回どのような内容を学ぶのか教科書などを通じて調べることで、予習しないで授業に臨むときとは異なる気持ちで授業に向かうことができます。

また、授業を受けた後、今回学んだことを自分なりに整理する時間として復習を行います。この授業では、どのようなことを学び、何が大切だったのかを行うのが復習です。この「予習・復習」を行うことで、「自分をコントロールする力（自己調整力、メタ認知）」を育てることができます。

家庭学習は自分との勝負になります。家庭では、ゲームをする時間などが自由にありますが、勉強する気持ちを持って取り組むことにより、自分自身をコントロールする力を身につけることができます。そのためにも毎日家庭学習を行う習慣を身につけることが大切となってきます。

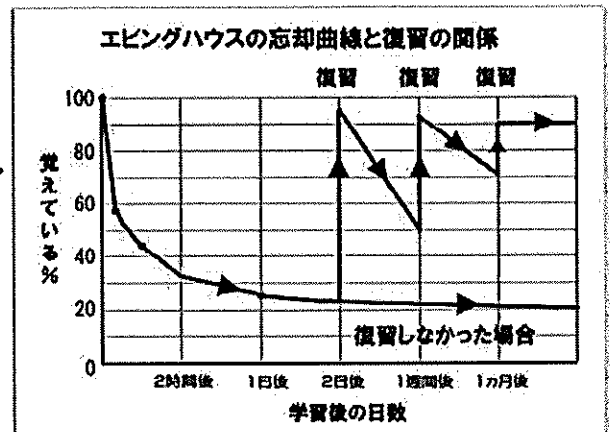
## 2. 家庭学習、家庭学習習慣について

学力を身につけるためには、「主体的に学ぶ力」が必要です。この力は、みなさん一人ひとりの学習計画に基づき、継続的に学習することによって身につけていく力です。そして、授業と家庭学習が一体となって自然と身につけていくものだと考えています。また、毎年中学3年生を対象に行われている全国学力学習状況調査によると、生活習慣と家庭学習習慣は生徒の正答率に影響していることが調査から分かってきました。このようなことから、子どもの学力を付けさせようとしたときに家庭学習やその習慣は不可欠なものとなっています。

### Q.なぜ家庭学習をしないといけないのですか？

⇒ A.人は「忘れるのが当たり前」だからです。

- 家でもう一度勉強することで、忘れることを防げます。
- テスト前に一気に思い出すのではなく、毎日コツコツ思い出していく方が、学力UPの効果は上がります。



### <保護者の方へ>

家庭学習の習慣は、お子さまの生活リズムを整えることにも効果を発揮します。

「毎日、〇時～〇時までは家庭学習の時間」と、家庭で設定することをお勧めします。



褒めることも大切



依存から脱けだそう

### 3. 評価について

令和3年度から学習指導要領が改訂され評価の観点が「知識・理解」「思考力・判断力・表現力」

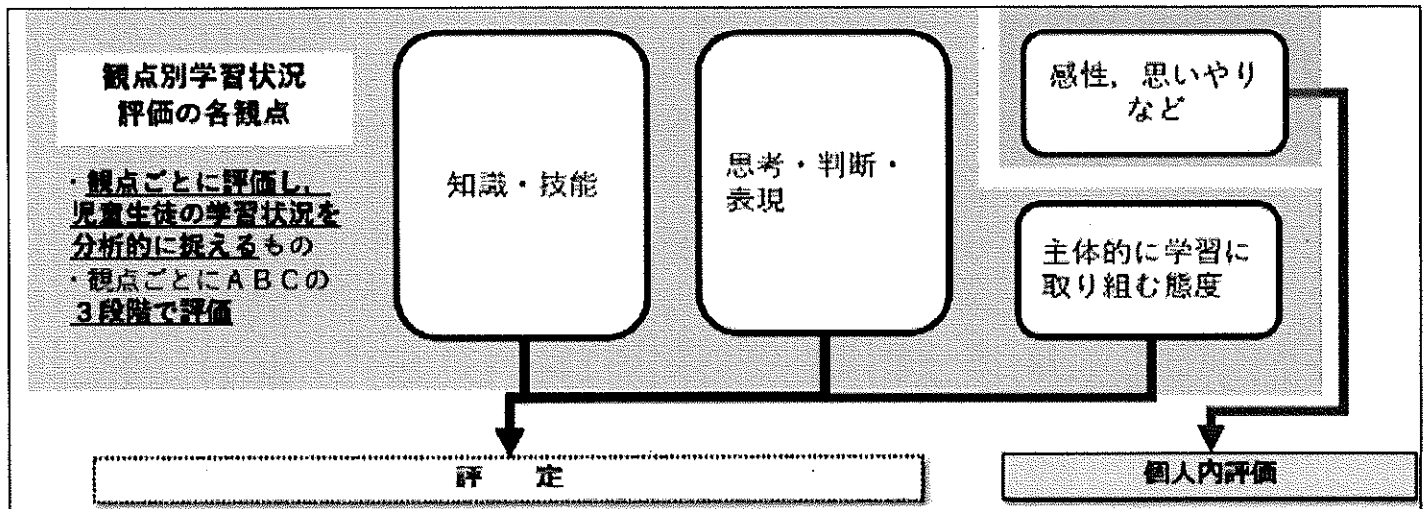
「主体的に学ぶ力」の3観点となりました。

「知識・技能」では、各教科等における知識及び技能の習得状況进行评估します。

「思考力・判断力・表現力」では、各教科等の知識及び技能を活用して課題を解決する等のために必要な思考力、判断力、表現力等を身に付けているかどうか进行评估します。

「主体的に学ぶ力」では、思考力、判断力、表現力等を身に付けたりするために、自らの学習状況を把握し、学習の進め方について試行錯誤するなど自らの学習を調整しながら学ぼうとしているかどうかという意志的な側面进行评估します。また、それぞれの項目に対してA、B、Cの評価をします。

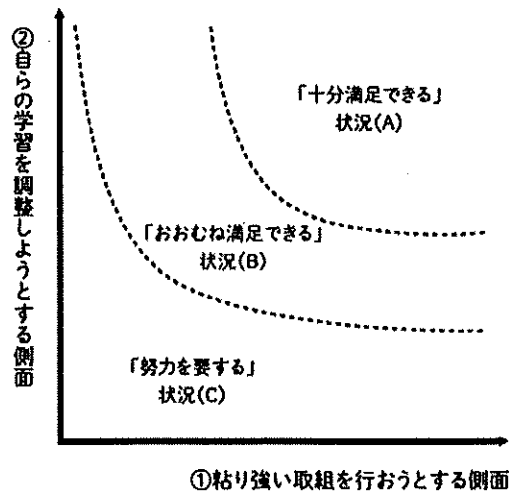
評価のイメージ図



#### 「主体的に学習に取り組む態度」の評価のイメージ

① 粘り強い取り組みを行おうとする側面は、目標達成までやり抜く力を指します。

② 自らの学習を調整しようとする側面は、学習の目的を達成するために工夫することを指します。

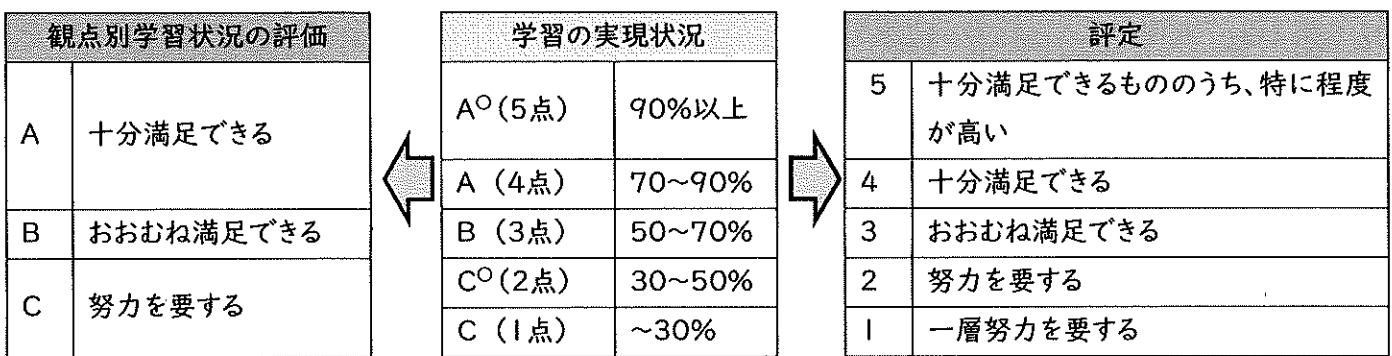


\* 文部科学省国立教育政策研究所「指導と評価の一体化のための学習評価に関する参考資料」

具体的な評価の一覧【通知表に載るもの】

観点別学習状況評価 【知識・技能】【思考力・判断力・表現力】【主体的に 学ぶ力】	評定
A:「十分満足できる」状況と判断されるもの	5:「十分満足できるもののうち、特に程度が高い」状況と判断されるもの
B:「おおむね満足できる」状況と判断されるもの	4:「十分満足できる」状況と判断されるもの 3:「おおむね満足できる」状況と判断されるもの
C:「努力を要する」状況と判断されるもの	2:「努力を要する」状況と判断されるもの 1:「一層努力を要する」状況と判断されるもの

具体的な評価の方法(あくまでも1例です)\*学習の内容によりパーセンテージは変わることがあります。

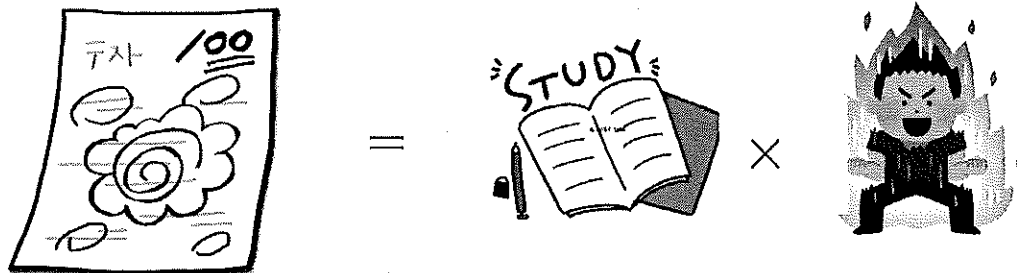


3 観点の合計得点	15点 14点	13点 12点 11点	10点 9点 8点	7点 6点 5点	4点 3点
評定	5	4	3	2	1

#### 4. 勉強の仕方、ポイント、アドバイス

勉強の仕方に悩む生徒や保護者の方が多くいるように感じます。そこで、効果的な勉強方法について3つ紹介します。1つでも参考になればと思います。

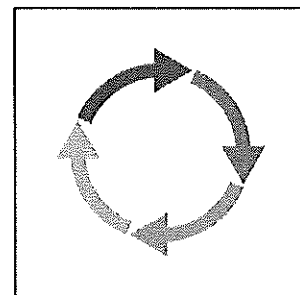
### その1 <sup>がくしゅうせい</sup> 学習成果 = <sup>なに</sup> 何を × <sup>いよく</sup> 意欲



最初に言えることは、勉強方法や勉強の仕方だけにとらわれていても成果は出ません。まず、あなたが、どんな気持ちで勉強に取り組むのが大事です。例えば、よい例としては、次のテストで100点を絶対に取りたい。前回のテストよりも10点伸ばしたい。授業をもっともっと理解したい。などが考えられます。逆に、めんどうくさい、やらされている、早く終わりたい、などのマイナスの気持ちを持っていると結果もマイナスになってしまいます。

### その2 <sup>こと</sup> 3つの異なるワークを1回するより、<sup>かい</sup> 同じワークを3回 <sup>おな</sup> 解く <sup>かいと</sup>

勉強が苦手だけれども、少しでもできるようになりたい!と思う人はぜひこのことを実践してみてください。逆になぜこのことをしないのに勉強がわからないと言っているのかがいつも不思議に思っています。1冊の問題集を1回ただけでは、絶対に覚えることはできません。間違った問題を何回も解くことで理解が深まります。大切なことは何回も同じものに出会うこと。勉強も同じことが言えますよ。



### その3 <sup>べんきょうじかん</sup> 勉強時間より <sup>べんきょうりょう</sup> 勉強量で <sup>お</sup> 終わり <sup>き</sup> を決める

とにかくすぐに勉強に取り掛かるのもいいですが、まず、今日勉強する見通し(予定)を立てましょう。例えば、「この問題ができるまでやろう」や「15ページできるまでやろう」「ここまで終わらなかつたら寝ない」という意志固めを最初にすることです。逆に、「〇〇時までやろう」というのは、とにかく時間さえきつてしまえば終わってしまいますので、椅子に座っていたら時間がきて終わってしまいます。そうすると力はないけど勉強した気持ちだけになってしまい、結果何の問題も解けなくなってしまいます。また、そうなってくるとだんだん勉強をさせられていると自分で認識してしまいます。常に、時間ではなく、勉強量で終わりを決めましょう。



## 5. なぜ勉強する必要があるのか

べんきょう い み じぶん ひょうげん  
勉強をする意味① = 自分らしく表現するため

あなたの人生は、あなた自身が組み立てて進んでいく道筋です。このことは、「自己実現」といい、あなたが将来やりたいこと、なりたい職業に近づくことをいいます。勉強することは、あなたがあなたらしい人生を送るためには、必要なことです。

例えば、「〇〇の仕事に就きたい」と言っているだけで、その仕事に必要な力が身につけていなかったとしたらどうでしょう？いつまでたっても、その職業には就けません。つまり、あなたが勉強しないと、「自己実現」できないのです。

べんきょう い み こうきしん しこうりよく ひょうげんりよく こうじょう  
勉強をする意味② = 好奇心や思考力、表現力の向上

勉強をする意味①でも、書いたように、「将来のために、自己実現のために、良い成績を取る」ということはあります。しかし、「テストで良い点数を取るためだけに勉強をする」ではありません。中学校で様々な教科を学ぶことには大きな意味があります。

(ア) 自分の興味関心がどこにあるのかを、自分で分析したり、その好奇心を自分で伸ばしたりする。

(イ) 課題を解決するための様々な考え方を学ぶことで、思考力を高める。

(ウ) 自分が学んだことや考えたことを相手に分かりやすく伝えることで、表現力を身につける。

これらのように、中学校の間に様々な教科に出会うことで、テストで点数を取る以上に大切なことを身につけることができます。

## 6 東橋内中学校独自のインターネットを活用した授業について

・一人1台タブレットが導入され、授業内でも調べ学習やタブレットを使用した授業が多くなります。各授業での使用方法につきましては各教科担任から指示があると思いますので、その指示を聞いて使用してください。またそれに伴って、「ロイノート」というアプリを利用します。課題提出や友人同士でのまとめ作業など様々な用途に使用できるアプリとなっております。

・e-Learning ポータルサイトでは、津市教育委員会からでている動画など自宅学習で使用できるサイトが上がっています。ぜひ、活用して自宅学習を実りあるものにしてもらいたいと思います。

ログイン方法は授業内でお知らせしたIDとパスワードをサイト内に打ち、ログインしてください。

IDとパスワードを忘れそうな人は下のところに書いておいてください。

ID: \_\_\_\_\_

パスワード: \_\_\_\_\_

## 特別活動について

特別活動とは、集団や自己の生活上の課題を解決することを通して、資質能力を育成することを目指す教育です。

【具体的な教育活動】

特別活動		
学級活動	生徒会活動	学校行事
<ul style="list-style-type: none"><li>・学級や学校の生活上の問題解決</li><li>・学級内の役割の自覚</li><li>・一人一人のキャリア形成</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・生徒会の組織づくりと生徒会活動の計画や運営</li><li>・学校行事への協力</li><li>・ボランティア活動などの社会参画</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・入学式、始業式、終業式、終了式卒業式などの儀式</li><li>・文化祭</li><li>・体育祭</li><li>・修学旅行</li><li>・職場体験学習</li><li>・ボランティア活動</li></ul>

## 道徳教育について

道徳教育は、よりよく生きるために、以下の4つの内容を学習し、人間としての生き方についての考えを深めることが目的です。

道徳教育の内容(年間35時間)

- A 主として自分自身に関する事
- B 主として人との関わりに関する事
- C 主として集団や社会との関わりに関する事
- D 主として生命や自然崇高なものとの関わりに関する事

## 国語 1年生 シラバス

### 1 国語の目標

社会生活における人との関わりの中で、国語を正しく使って伝え合う力を高め、考えたり想像したりする力をつける。

### 2 国語を学ぶ意義

- ・知識や技能を身に付けることによって、生活の中にある言葉や文章を理解できるようになる。
- ・筋道立てて考える力や、豊かに感じたり想像したりする力が身に付く。
- ・人との関わりの中で伝え合う力が高まり、自分の思いや考えを確かなものにすることができるようになる。

### 3 評価の観点について

観点	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
趣 旨	<p>知識：日本の言葉の特徴や使い方（漢字・文法・慣用句・故事成語・ことわざなど）について理解することができる。</p> <p>技能：話や文章に書かれている情報を正確に理解することができる。</p>	<p>A「話すこと・聞くこと」において、スピーチなどの活動で、今までの学習を生かして自分の考えを他者に分かりやすく発信することができる。また、他者の考えを大切にして、相手が何を伝えたいのかを聞き取ることができる。</p> <p>B「書くこと」において、作文や記述などの活動で、習った漢字や正しい文法を使って、他者に伝わりやすい文章を書くことができる。</p> <p>C「読むこと」において、文学的文章では、さまざまな作品を読み、それぞれの人物の心情（気持ち）や作品の主題（テーマ）をとらえ、自分の経験と照らし合わせたり、他者の意見を聞くことで自分の読みや考えを深めることができる。説明的文章では、文章の構成や筆者の主張を読み取り、筆者の物事の見方を参考にしながら新たな見方・考え方を持ち、自分の考えの幅を広げることができる。</p>	<p>日本の言語文化を大切にし、他者の意見を尊重しながらも自分の思いや考えを伝えようとしている。</p>

### 4 主体的に学習に取り組む態度について

- ① 粘り強さ 例：課題に対して、あきらめずに取り組むこと  
例：自分の考えをさらに深めるために、友達に聞いたり、共に考えたりすること
- ② 国語を学ぶ意義 例：学習したことを実際の生活に生かそうとしていること
- ③ 自らの学習の調整 例：課題解決の過程を振り返って評価・改善をしようとしていること

### 5 国語の勉強アドバイス

- ① 学校で勉強した部分は、復習としてそのつどワークを自分で進めましょう。
- ② 漢字の学習は、予習としてどんどん自分で進めましょう。
- ③ 普段から、読書の時間を大切にしましょう。

国語 1年生 学習計画と評価規準について

【学習の年間計画】

学期	月	学習内容 (単元)	学習のねらい
1 学 期	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆オリエンテーション</li> <li>○朝のリレー(詩)</li> <li>○野原はうたう(詩)</li> <li>・音声の仕組みや働き(言葉)</li> <li>○はじまりの風(物語)</li> <li>◆図書館オリエンテーション(読書)</li> </ul>	<p>■詩</p> <p>「朝のリレー」、「野原はうたう」、「空の詩 三編」、「大阿蘇」、「ぼくがここに」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・音声の働きや仕組みについて、理解を深めている。</li> <li>・声の強弱、間の取り方、言葉の調子、声の高さを工夫しながら音読している。</li> <li>・表現の技法を理解し、表現を工夫して詩を書いている。</li> <li>・詩に描かれている情景を想像し、具体的な叙述を取り上げて表現の効果を考えている。</li> <li>・詩の朗読を聞いて、それぞれの言葉がどのように使われているかを考えている。</li> <li>・表現や表現技法に着目して読み深めたことを基に、作者の思いを想像し、考えている。</li> </ul>
	5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・話の構成を工夫しよう(話す・聞く)</li> <li>・漢字の組み立てと部首(漢字)</li> <li>○ダイコンは大きな根？(説明)</li> <li>○ちょっと立ち止まって(説明)</li> <li>・比較・分類(情報)</li> </ul>	
	6	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指示する語句と接続する語句(文法)</li> <li>・情報を整理して説明しよう(書く)</li> <li>○空の詩 三編(詩・解説)</li> <li>○比喻で広がる言葉の世界(解説)</li> <li>・語彙を豊かに 心情を表す言葉</li> </ul>	<p>■小説、物語文、随筆文</p> <p>「はじまりの風」、「大人になれなかった弟たちに……」、「星の花が降るころに」、「少年の日の思い出」、「二十歳になった日」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・場面ごとの心情の変化を図などを使って整理している。</li> <li>・場面ごとに会話や描写を整理して、登場人物の心情や関係の変化を捉えている。</li> <li>・戦時中という時代背景や、その中で暮らす人々の生活苦を理解するうえで、読書が役立つことを理解している。</li> <li>・描写に着目して、登場人物の行動の理由や心情の変化を捉えている。</li> <li>・場面や描写の結び付きを、図などを用いて整理・比較している。</li> <li>・場面と場面、場面と描写などを結び付けて、内容を解釈している。</li> <li>・時間・場所・出来事・語り手に着目して作品の構成や展開を捉えたり、具体的な表現を挙げてその効果について自分の考えをまとめたりしている。</li> <li>・登場人物のものの見方について、自分の考えをもっている。</li> <li>・随筆の構成や表現の効果について考えている。</li> </ul>
	7	<ul style="list-style-type: none"> <li>・さまざまな表現技法(言葉)</li> <li>・言葉のまとまりを考えよう/言葉の単位(文法)</li> <li>・情報収集の達人になろう(情報)</li> <li>○読書を楽しむ(読書活動)</li> <li>◆読書感想文の書き方(読書・書く)</li> </ul>	
2 学 期	9	<ul style="list-style-type: none"> <li>○大人になれなかった弟たちに……(物語)</li> <li>○星の花が降るころに(小説)</li> <li>・項目を立てて書こう 案内文を書く(書く)</li> <li>・聞き上手になろう(話す・聞く)</li> </ul>	<p>■説明文、解説文、記録文、意見文</p> <p>「ダイコンは大きな根?」、「ちょっと立ち止まって」、「比喻で広がる言葉の世界」、「言葉をもつ鳥、シジュウカラ」、「『不便』の価値を見つめ直す」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本文中で比較がどのように使われているかを理解している。</li> <li>・「問い」と「答え」から中心的な部分を捉え、筆者の主張を理解している。</li> <li>・筆者の主張と事象との関係を整理している。</li> <li>・序論・本論・結論の段落のまとまりに着目し、要旨を捉えている。</li> <li>・文中で使われている比喩の文脈上の意味を理解している。</li> <li>・各段落の役割を理解し、文章の中心となる部分を見つけ、要旨を捉えている。</li> <li>・筆者の意見とそれを支える根拠との関係を理解している。</li> <li>・文章の構成や展開について、根拠を明確にして考えている。</li> <li>・必要な情報を選び、結び付けて、本文を要約している。</li> <li>・筆者の主張に対する自分の考えをまとめている。</li> </ul>
	10	<ul style="list-style-type: none"> <li>・方言と共通語(言葉)</li> <li>・漢字の音訓(漢字)</li> <li>○「言葉」をもつ鳥、シジュウカラ(記録)</li> <li>・意見と根拠(情報)</li> <li>・根拠を明確にして書こう(書く)</li> <li>・言葉の関係を考えよう/文の組み立て(文法)</li> </ul>	
	11	<ul style="list-style-type: none"> <li>○大阿蘇(詩)</li> <li>○古典の世界(古典・解説)</li> <li>○いろは歌(古文・音読)</li> <li>○蓬萊の玉の枝(古文)</li> </ul>	<p>■古文・漢文</p> <p>「古典の世界」、「いろは歌」、「蓬萊の玉の枝」、「今に生きる言葉」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・古典にはさまざまな種類の作品があることを理解している。</li> <li>・音読に必要な文語のきまりや、古典特有のリズムを確かめながら音読し、古典の世界に親しんでいる。</li> <li>・文章を読み、登場人物の思いや行動、現代との共通点や相違点について考えを深めている。</li> <li>・訓読のしかたや漢文特有のリズムを確かめながら音読し、古典の世界に親しんでいる。</li> <li>・本文を読んで故事成語について理解したことに基づいて、自分の体験と故事成語を結び付けて考えている。</li> </ul>
	12	<ul style="list-style-type: none"> <li>○今に生きる言葉(漢文)</li> <li>○「不便」の価値を見つめ直す(意見)</li> <li>・原因と結果(情報)</li> <li>・話題や展開を捉えて話し合おう(話す・聞く)</li> <li>・研究の現場によろこそ(読書)</li> </ul>	
3 学 期	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>○少年の日の思い出(小説)</li> <li>・単語の性質を見つけよう/単語の分類(文法)</li> </ul>	<p>■漢字・文法・語句</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・漢字の組み立てと部首について理解し、漢和辞典を使って調べている。</li> <li>・漢字の音・訓について理解し、熟語を正しく読んだり、同じ熟語の音・訓の読み方を使って短い文を作ったりしている。</li> <li>・漢字の成り立ちについて理解し、漢和辞典を使って調べている。</li> <li>・例を基に、指示する語句と接続する語句の種類や働き、使われ方などについて理解している。</li> <li>・文法の必要性を知り、言葉の単位とその働きについて理解している。</li> <li>・「文節どうしの関係」「連文節」「文の成分」「文の組み立て」について、理解を深めている。</li> <li>・「単語の分類」「品詞」「体言と用言」について、理解を深めている。</li> <li>・日本語の音声は母音と子音で構成されることや、アクセント・イントネーションによって意味や調子が変化することなどを理解している。</li> <li>・比喩、反復、倒置、体言止めなどの表現の技法について、具体的な言葉を挙げて指摘している。</li> <li>・共通語と方言の役割や特徴について理解している。</li> </ul>
	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・漢字の成り立ち(漢字)</li> <li>○二十歳になった日(随筆)</li> <li>・構成や描写を工夫して書こう(書く)</li> </ul>	
	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一年間の学びを振り返ろう(話す・聞く・書く)</li> <li>○ぼくがここに(詩)</li> </ul>	

## 社会科1年生シラバス

### 1 社会科の目標

広い視野で物事を見て、平和で民主的な世の中を築き上げるための知識・技能の基礎を身に付ける。

### 2 社会科を学ぶことの意義

- ・よりよい社会を築き上げるのは自分であるという自覚を持てる。
- ・自分を大切にし、他の人や異なる文化を大切にする心が持てる。

### 3 評価の観点について

観点	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
趣 旨	<p>知識： 我が国の国土と歴史や現代社会の政治、経済、国際関係に関する事柄を理解する。</p> <p>技能： 社会的事象について調べ、まとめることができる。</p>	<p>思考： 社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連を多面的・多角的に考察することができる。</p> <p>判断： 社会に見られる課題を把握し、解決に向けて複数の立場や意見を踏まえて選択・判断することができる。</p> <p>表現： 自分がわかったことや、疑問点などを友達や先生に相手意識をもって、わかりやすく伝えることができる。</p>	<p>世の中の様々な事柄について進んで学習し、よりよい社会の実現に関わろうとしている。</p>

### 4 主体的に学習に取り組む態度について

- ①粘り強さ(例):社会科の課題を粘り強く考え、あきらめずに解決しようと取り組むこと。  
(例):自分の考えを更に深めるために、友達の意見も聞き、一緒に答えを導き出すこと。
- ②自らの学習の調整(例):振り返りを使って、課題解決の過程を振り返り、評価・改善をしようとしていること。
- ③社会科を学ぶ意義(例):社会科で学んだ事柄を次の学習や実際の生活に生かそうとしていること。

### 5 社会科の勉強アドバイス

- ①授業で学んだことをワーク（問題集）を使って何度も復習しましょう。
- ②暗記するだけでなく、資料などを見て課題に取り組みましょう。
- ③覚えたことを、簡単な言葉に置き換え、自分の言葉で説明できるようにしましょう。

社会科 1年生 学習計画と評価基準について

節	学習時期	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
世界と日本の地域構成	4月～5月	緯度と経度、大陸と海洋の分布、主な国々の名称と位置などを基に、世界の地域構成を大観し理解している。	世界の地域構成の特色を、大陸と海洋の分布や主な国の位置、緯度や経度などに着目して多面的・多角的に考察し、表現している。	世界の地域構成について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。
世界の人々の生活と環境	5月～6月	人々の生活は、その生活が営まれる場所の自然及び社会的条件から影響を受けたり、その場所の自然及び社会的条件に影響を与えたりすることを理解している。また、世界各地における人々の生活やその変容を基に、世界の人々の生活や環境の多様性を理解している。その際、世界の主な宗教の分布についても理解している。	世界各地における人々の生活の特色やその変容の理由を、その生活が営まれる場所の自然及び社会的条件などに着目して多面的・多角的に考察し、表現している。	世界各地の人々の生活と環境について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。
世界の諸地域	6月～9月	世界各地で顕在化している地球的課題は、それが見られる地域の地域的特色の影響を受けて、現れ方が異なることを理解している。また、アジア州・ヨーロッパ州・アフリカ州・北アメリカ州・南アメリカ州・オセアニア州の各州に暮らす人々の生活を基に、各州の地域的特色を大観し理解している。	アジア州・ヨーロッパ州・アフリカ州・北アメリカ州・南アメリカ州・オセアニア州の各州において、地域で見られる地球的課題の要因や影響を、州という地域の広がりや地域内の結び付きなどに着目して、それらの地域的特色と関連付けて多面的・多角的に考察し、表現している。	世界の諸地域について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。
歴史のとらえ方と調べ方	10月	日本の歴史の大きな流れや各時代の特色に関する様々な資料を収集・読み取りをし、年表などにまとめる。身近な地域の歴史について適切に資料など情報を収集し、年表などにまとめている。	歴史的な見方・考え方「時期や年代」「推移」「現在のつながり」に着目して、小学校で学習した人物や文化財、出来事などが時代区分とどのように関わるか考察し、表現している。また、歴史的な見方・考え方「比較」「関連」や、時代的背景や地域の環境、歴史と私たちとのつながりに着目して、身近な地域の歴史の特徴を考察し、表現している。	身近な歴史や歴史上の人物、出来事などを調べたり考えたりする活動を通して、日本の歴史の大きな流れや時代の特色に対して見通しを持ち、課題の解決に向けて学習しようとしている。
古代東アジアの成立と	10月～11月	世界の古代文明や宗教が生まれたこと、日本列島において人々の生活が始まり、やがて国家が形成されていった過程のあらましを、東アジアの動きと関連付けて理解している。	古代文明の特徴や宗教のおこり、日本列島における人々の生活の変化について、多面的・多角的に考察し表現している。	世界の古代文明や宗教のおこりへの関心を高め、古代までの日本の大きな流れに関する課題を意欲的に追究している。また、現代に残る古代の文化遺産に関心を高め、それらを尊重しようとしている。
武家東アジアの成長と	12月～1月	武家政権の成立と武家社会の発展、諸産業の発達と民衆の成長、中世の文化の特色などを、東アジア世界との交流を背景に理解している。また、中世の政治の展開、経済の発達と社会の変化、文化の広がりに関する諸資料を収集・選択して、読み取ったり、図表にまとめている。	武家政権の成立と武家社会の発展、諸産業の発達と民衆の成長、文化の特色などを、多面的・多角的に考察し、表現している。また、モンゴルの襲来、明や朝鮮との関わりなど東アジア世界との交流を、多面的・多角的に考察し、表現している。	武家政権の成立と武家社会の発展、諸産業の発達と民衆の成長、東アジア世界との交流に関する課題を意欲的に追究している。また、日本の伝統文化に対する関心を高め、今日に残る中世の文化や文化財を尊重しようとしている。
武家世界の動き	2月～3月	ヨーロッパ人來航の背景とその影響、織田・豊臣の統一事業とその当時の対外関係、武将や豪商などの生活文化の展開などを基に、近世社会の基礎が作られたことを理解している。	ヨーロッパ人來航の背景とその影響からの課題、織田・豊臣による統一事業とその当時の対外関係からの課題、また、武将や豪商などの生活文化の展開からの課題を見いだし、多面的・多角的に考察し、表現している。	ヨーロッパ人來航の背景とその影響からの課題、織田・豊臣による統一事業とその当時の対外関係からの課題、また、武将や豪商などの生活文化の展開からの課題を主体的に追究し、解決しようとしている。
具体的な方法・評価の		授業の様子、単元テスト・定期テストなど	授業の様子、単元のまとめ、プレゼンテーション、単元テスト、定期テストなど	授業の様子、振り返り、単元のまとめ、単元テスト、定期テストなど

## 数学科 1 年生シラバス

### 1 数学科の目標

数学的活動を通して、論理的に考える力をつけることを目指す。

### 2 数学を学ぶ意義

実生活の中にある数字や式の意味を理解できるようになる。  
物事を順序だてて考え、大切なことを理解し見失わないようになる。

### 3 評価の観点について

観点	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
趣 旨	<p>知識：数量や図形などについて決まりを理解することができる。</p> <p>技能：問題を数字や式に表して、計算することができる。</p>	<p>思考：課題を解決するために、比べたり、決まりを見つれたり等することができる。</p> <p>判断：今までの学習の中から今の課題を解決する手段を見つけることができる。</p> <p>表現：自分がわかったことや、疑問点などを友達や先生にわかりやすく伝えることができる。</p>	<p>数学の楽しさや良さを生活や学習に生かそうとしたり、クラスメイトと一緒に課題を解決しようとし、学習を振り返って次の勉強をより良くしようとしている。</p>

### 4 主体的に学習に取り組む態度について

- ① 粘り強さ 例：数学の課題を粘り強く考え、あきらめずに解決しようとする取り組みこと  
例：友達の見聞き、自分の考えを深めること
- ② 自らの学習の調整 例：課題解決の過程を振り返って評価・改善をしようとしていること

### 5 数学の勉強アドバイス

- ① 学校で学習した内容は、ワークで復習しましょう。
- ② 文章のある問題は絵や図を書いたりして解くようにしましょう。

数学科 1年生 学習計画と評価基準について

節	学習時期	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1章 負の数の数	4月～5月下旬	正の数と負の数の必要性和意味を理解し、四則計算をすることができる。	正の数と負の数について学んだことを生活や学習に生かすことができる。	正の数と負の数を活用した問題解決の過程を振り返って検討できる。
2章 文字の式	6月下旬～7月中旬	文字を用いることの必要性和意味を理解し、文字を用いて四則計算をしたり、法則を表したりすることができる。	文字を用いた式について学んだことを生活や学習に生かすことができる。	文字を用いた式を活用した問題解決の過程を振り返って検討できる。
3章 方程式	7月中旬～9月	1元1次方程式の必要性和意味を理解できる。簡単な1元1次方程式を解くことができる。	1元1次方程式について学んだことを生活や学習に生かすことができる。	1元1次方程式を活用した問題解決の過程を振り返って検討できる。
4章 変化と対応	10月～11月中旬	関数、比例、反比例、座標の意味を理解できる。比例反比例を表、式、グラフに表すことができる。	比例、反比例について学んだことを生活や学習に生かすことができる。	比例、反比例を活用した問題解決の過程を振り返って検討できる。
5章 平面図形	11月中旬～12月	基本的な作図の方法を理解できる。平行、対象、回転の移動を理解できる。	平面図形について学んだことを生活や学習に生かすことができる。	基本的な作図や図形の移動を活用した問題解決の過程を振り返って検討できる。
6章 空間図形	1月～2月中旬	空間における直線や平面の位置関係を知ることができる。様々な図形の長さや面積、体積を求めることができる。	空間図形について学んだことを生活や学習に生かすことができる。	空間図形の性質や関係を活用した問題解決の過程を振り返って検討できる。
7章 データの活用	2月中旬～3月	ヒストグラムや相対度数などの必要性和意味を理解できる。コンピュータなどを使ってデータを表やグラフに整理することができる。	データの分布について学んだことを生活や学習に生かすことができる。	ヒストグラムや相対度数などを活用した問題解決の過程を振り返って検討できる。
方法 具体的な評価の		・定期テスト・単元テスト・小テスト・授業での発言・レポート等の提出物・パフォーマンステスト・プレゼンテーションテスト	・定期テスト・単元テスト・小テスト・授業での発言・レポート等の提出物・パフォーマンステスト・プレゼンテーションテスト	・授業中の発言・レポート等の提出物・授業の振り返り

## 理科1年生シラバス

### 1 理科の目標

自然や様々な現象に関わり、見方や考え方を働かせながら、見通しをもって観察や実験を行う活動を通して、科学的に考えるために必要な力をつける。

### 2 理科を学ぶ意義

- ・生活の中にある事柄や現象について正しく学ぶことで、適切に判断し、行動できる。
- ・科学的に物事を考えることができるようになる。
- ・探究する能力や態度を身に付けることで、主体的、創造的に生きていく力を付けることができるようになる。

### 3 評価の観点について

観点	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
趣 旨	<p>知識：自然の様々な現象について理解する。</p> <p>技能：科学的に考えるために必要な観察や実験に関する基本的な技能を身につける。</p>	<p>思考：課題に対して、科学的な根拠をもとに考えることができる。</p> <p>判断：学習により身についた様々な実験方法や分析方法の中から、課題を解決するための正しい方法を決定することができる。</p> <p>表現：観察や実験を通して自分がわかったことや、疑問点などを友達や先生にわかりやすく伝えることができる。</p>	<p>自然の様々な事柄や現象に進んで関わり、科学的に考えようとしている。</p>

### 4 主体的に学習に取り組む態度について

- ① 粘り強さ 例：課題に対して、科学的に考え、あきらめずに取り組むこと  
例：自分の考えをさらに深めるために、友達に聞いたり、共に考えたりすること
- ② 理科を学ぶ意義 例：学習したことと生活の中にある科学を結び付けていること
- ③ 自らの学習の調整 例：課題解決の過程を振り返って評価・改善をしようとしていること

### 5 学習のポイント

・学習の振り返りをするときには、授業前の自分の状態と授業後の自分の状態を比べましょう。そして、「授業で分かったこと」は何なのか、また「授業を受けたがまだ分らなかったこと」は何なのかを表現しましょう。

理科 1年生 学習計画と評価規準について

領域	学習時期	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
自然の中にあふれる生命	4月	いろいろな生物の共通点と相違点に着目しながら、生物の観察と分類のしかたについての基本的な考えやきまりなどを理解しているとともに、科学的に考えるために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。	生物の観察と分類のしかたについての観察、実験などを通して、いろいろな生物の同じところやちがうところを発見するとともに、生物を分類するための基準を見つけて表現しているなど、科学的に考えている。	生物の観察と分類のしかたに関する事柄や現象に進んで関わり、見通しをもったりふり返ったりするなど、科学的に考えようとしている。
いろいろな生物とその共通点	5月～12月	いろいろな植物や動物の共通点と相違点に着目しながら、植物の体の共通点と相違点についての基本的な考えやきまりなどを理解しているとともに、科学的に考えるために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。	植物や動物の体の共通点と相違点についての観察、実験などを通して、いろいろな植物の同じところやちがうところを発見するとともに、植物を分類するため基準を見つけて表現しているなど、科学的に考えている。	植物や動物の体の共通点と相違点に関する事柄や現象に進んでかかわり、見通しをもったりふり返ったりするなど、科学的に考えようとしている。
身のまわりの物質	4月～7月	身のまわりの物質の性質や様々な変化に着目しながら、身のまわりの物質とその性質についての基本的な考えやきまりなどを理解しているとともに、科学的に考えるために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。	身のまわりの物質の性質や様々な変化について、問題を見だし見通しをもって観察、実験などを行い、物質の性質やその変化におけるきまりを見つけて表現しているなど、科学的に考えている。	身のまわりの物質の性質や様々な変化に関する事柄や現象に進んでかかわり、見通しをもったりふり返ったりするなど、科学的に考えようとしている。
光・音・力による現象	9月～12月	光・音・力に関する事柄や現象を日常生活や社会と関連づけながら、それらの基本的な考えやきまりなどを理解しているとともに、科学的に考えるために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。	光・音・力について、問題を見だし見通しをもって観察、実験などを行い、それらのかまりや関係性を見つけて表現しているなど、科学的に考えている。	光・音・力に関する事柄や現象に進んでかかわり、見通しをもったりふり返ったりするなど、科学的に考えようとしている。
活きている地球	1月～3月	大地の成り立ちと変化を地表に見られるさまざまな事柄や現象と関連づけながら、大地の活動や災害についての基本的な考えやきまりなどを理解しているとともに、科学的に考えるために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。	大地の活動や災害について、問題を見だし見通しをもって観察、実験などを行い、大地の活動のかまりや関係性などを見つけて表現しているなど、科学的に考えている。	大地の活動や災害に関する事柄や現象に進んで関わり、見通しをもったりふり返ったりするなど、科学的に考えようとしている。
具体的な評価の方法		行動観察、発言、発表、パフォーマンステスト、レポート、ワークシート、単元テスト・定期テストなど	発言、発表、パフォーマンステスト、レポート、ワークシート、単元テスト・定期テストなど	行動観察、発言、発表、自己評価、パフォーマンステスト、レポート、ワークシートなど

## 外国語科 1 年生シラバス

### 1 外国語科の目標

簡単な情報や考えなどを理解したり伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力の育成を目指す

### 2 外国語を学ぶ意義

- 聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能を身に付けるため
- コミュニケーションを行う目的や場所、状況などに応じて、表現したり伝え合ったりすることができる力を身に付けるため
- 相手意識を持ちながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を身に付けるため

### 3 評価の観点について

観点	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
趣 旨	<p>知識：英語の特徴やきまりに関する事項を理解することができる</p> <p>技能：実際のコミュニケーションにおいて、日常的话题や社会的な話題について、その内容を捉える技能を身に付けることができる</p>	<p>コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的话题や社会的な話題に関して聞いたり読んだりしたことについて、事実や自分の考え、気持ちなどを、簡単な語句や文を用いて伝え合うことができる</p>	<p>外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてやり取りしようとしている</p>

### 4 主体的に学習に取り組む態度について

- ① 粘り強さ 例：言語活動を粘り強く行い、あきらめずに課題解決しようと取り組むこと  
例：相手意識を持ち、自分の考えや気持ちを伝えようとしている
- ② 外国語を学ぶ意義 例：相手意識を持ち、自分の考えや気持ちを伝え合おうとしている
- ③ 自らの学習の調整 例：振り返りカードを使って、学習計画や自分への振り返りをする事で、評価・改善しようとしていること

### 5 外国語の勉強アドバイス

- ① 振り返りカードをポイントに従って、たくさん書きましょう。自己評価につながります。
- ② パフォーマンステストに向けては、しっかり準備をしましょう。  
筆記テストだけが評価されるわけではありません。
- ③ 話す、書くなど表現する機会がたくさんありますが、積極的に取り組みましょう。
- ④ 宿題、プリントなど、課題を忘れずこなすようにしましょう。

外国語科 1年生 学習計画と評価基準について

単元	学習時期	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
Unit 0	4月	<p>【知識】 あいさつや好きなものをたずねる文の形・意味・用法を理解している。</p> <p>【技能】 あいさつや好きなものをたずねる文の理解をもとに、初対面や朝のあいさつをしたり、好きなものをたずね合ったり答えたりする技能を身につけている。</p>	<p>初対面の相手とおたがいのことを知るために、あいさつをして名前を伝え合ったり、好きなものについて、簡単な語句や文を用いて即興でたずねたり答えたりしている。</p>	<p>初対面の相手とおたがいのことを知るために、あいさつをして名前を伝え合ったり、好きなものについて、簡単な語句や文を用いて即興でたずねたり答えたりしようとしている。☒</p>
Unit 1	4月・5月	<p>【知識】 be動詞や一般動詞を用いた文の形・意味・用法を理解している。</p> <p>【技能】 be動詞や一般動詞を用いた文の理解をもとに、おたがいの名前や好きなものなどについて伝えたり、たずねたりする技能を身につけている。</p>	<p>おたがいのことをよりよく知るために、名前や好きなものなどについて、おたがいのことや考えや気持ちを、簡単な語句や文を用いて即興で伝え合ったり、たずねたり答えたりしている。</p>	<p>おたがいのことをよりよく知るために、名前や出身地、好きなものやできることなどについて、簡単な語句や文を用いて即興でコミュニケーションを行おうとしている。"【態】 おたがいのことをよりよく知るために、名前や好きなものなどについて、おたがいのことや考えや気持ちを、簡単な語句や文を用いて即興で伝え合ったり、たずねたり答えたりしようとしている。</p>
Unit 2	5月	<p>【知識】 He [She] is …や助動詞can, This [That] is …を用いた文の形・意味・用法を理解している。</p> <p>【技能】 He [She] is …や助動詞can, This [That] is …を用いた文の理解をもとに、身近な人のことやできること、どのようなものかについて伝えたり、たずねたり答えたりする技能を身につけている。</p> <p>☒</p>	<p>身近な人やものについてよりよく知るために、身近な人のことやできること、どのようなものかについての紹介や疑問に思うことなどについて、簡単な語句や文を用いて即興で伝え合ったり、たずねたり答えたりしている。</p>	<p>身近な人やものについてよりよく知るために、身近な人のことやできること、どのようなものかについての紹介や疑問に思うことなどについて、簡単な語句や文を用いて即興で伝え合ったり、たずねたり答えたりしようとしている。</p>
Unit 3	6月	<p>【知識】 whatやwho, howやwhen, whereを用いた疑問文の形・意味・用法を理解している。</p> <p>【技能】 whatやwho, howやwhen, whereを用いた疑問文の理解をもとに、ものや人、方法や時、場所をたずねたり答えたりする技能を身につけている。</p> <p>☒</p>	<p>疑問に思うことを解決したり、知らないものや人について知るために、ものや人、方法や時、場所について、簡単な語句や文を用いて即興でたずねたり答えたりしている。</p>	<p>疑問に思うことを解決したり、知らないものや人について知るために、ものや人、方法や時、場所について、簡単な語句や文を用いて即興でたずねたり答えたりしようとしている。</p>
Unit 4	6月	<p>【知識】 How many …? やWhat + 名詞 …? の疑問文、命令文の形・意味・用法を理解している。(L・R・SI・SP・W)</p> <p>【技能】 How many …? やWhat + 名詞 …? の疑問文、命令文の理解をもとに、数や時刻、することなどについてたずねたり答えたり、指示や助言をしたりする技能を身につけている。</p> <p>☒</p>	<p>おたがいのことをよりよく知るために、数や時刻、することなどについて、簡単な語句や文を用いて即興でたずねたり答えたり、指示や助言をしたりしている。</p>	<p>おたがいのことをよりよく知るために、数や時刻、することなどについて、簡単な語句や文を用いて即興でたずねたり答えたり、指示や助言をしたりしようとしている。</p>
Unit 5	7月	<p>【知識】 三人称単数現在形の文の形・意味・用法を理解している。(L・R・SI・SP・W)</p> <p>【技能】 三人称単数現在形の文の理解をもとに、自分と相手以外の人やものなどについてたずねたり答えたりする技能を身につけている。</p> <p>☒</p> <p>☒</p>	<p>クラスメートなど身近な人の魅力をほかの人に知ってもらうために、その人について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて話している。</p>	<p>クラスメートなど身近な人の魅力をほかの人に知ってもらうために、その人について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて話そうとしている。</p>
Stage Activity 1	7月	<p>【知識】 Unit 4までの学習事項を用いた文の形・意味・用法を理解している。</p> <p>【技能】 自分が好きなことについて、Unit 4までの学習事項を用いて、つながりのある文章を書く技能を身につけている。</p>	<p>自分のことを知ってもらうために、自分が好きなことについて情報を整理してつながりのある文章でポスターを書いている。</p>	<p>自分のことを知ってもらうために、自分が好きなことについて情報を整理してつながりのある文章でポスターを書こうとしている。</p>
Unit 6	9月	<p>【知識】 代名詞や疑問詞whose, whichを用いた文の形・意味・用法を理解している。(L・R・SI・SP・W)</p> <p>【技能】 代名詞や疑問詞whose, whichを用いた文の理解をもとに、人やものについてたずねたり答えたりする技能を身につけている。</p> <p>☒</p>	<p>自分と相手以外の人やものの持ち主などについて知るために、有名人やキャラクターについて、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて伝え合ったり、たずねたり答えたりしている。</p>	<p>自分と相手以外の人やものの持ち主などについて知るために、有名人やキャラクターについて、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて伝え合ったり、たずねたり答えたりしようとしている。</p>
Unit 7	10月	<p>【知識】 現在進行形を用いた文や感嘆文の形・意味・用法を理解している。</p> <p>【技能】 現在進行形を用いた文や感嘆文の理解をもとに、人が今していることについてたずねたり答えたり、感動や驚きの気持ちを伝え合う技能を身につけている。</p> <p>☒</p>	<p>相手に学校や町の雰囲気を知ってもらうために、生活の一場面で行っていることや感動や驚きの気持ちを、写真や動画を見せながら、事実や気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて即興で話している。</p>	<p>相手に学校や町の雰囲気を知ってもらうために、生活の一場面で行っていることや感動や驚きの気持ちを、写真や動画を見せながら、事実や気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて即興で話そうとしている。</p>

Unit 8	10月・11月	<p>[知識] 不定詞(名詞的用法)や&lt;look+形容詞&gt;を用いた文の形・意味・用法を理解している。</p> <p>[技能] 不定詞(名詞的用法)や&lt;look+形容詞&gt;を用いた文の理解をもとに、したいことや人やもの様子について伝え合ったり、たずねたり答えたりする技能を身につけている。</p> <p>☒</p>	<p>世界や地域の問題をみんなで共有して解決するために、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて、その現状を伝え協力を呼びかけるポスターを書いている。</p>	<p>世界や地域の問題をみんなで共有して解決するために、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて、その現状を伝え協力を呼びかけるポスターを書こうとしている。</p>
Stage Activity 2	11月・12月	<p>[知識] Unit 8までの学習事項を用いた文の形・意味・用法を理解している。</p> <p>[技能] 好きな名人やあこがれの人について、Unit 8までの学習事項を用いて、どんな人かを理解したり、その人についてたずねたり説明したりする技能を身につけている。</p>	<p>好きな名人やあこがれの人がどのような人かを伝えるために、その人についての質問をして答えたり、説明したりしている。</p>	<p>好きな名人やあこがれの人がどのような人かを伝えるために、その人についての質問をして答えたり、説明したりしようとしている。</p>
Unit 9	12月	<p>[知識] 一般動詞の過去形を用いた文の形・意味・用法を理解している。</p> <p>[技能] 一般動詞の過去形を用いた文の理解をもとに、過去の出来事について伝え合ったり、たずねたり答えたりする技能を身につけている。</p> <p>☒</p>	<p>おたがいのことをよりよく知るために、クラスメートと冬休みの出来事について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて即興で伝え合ったり、たずねたり答えたりしている。</p>	<p>おたがいのことをよりよく知るために、クラスメートと冬休みの出来事について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて即興で伝え合ったり、たずねたり答えたりしようとしている。</p>
Unit 10	1月	<p>[知識] be動詞の過去形や過去進行形、There is [are] ...を用いた文の形・意味・用法を理解している。</p> <p>[技能] be動詞の過去形や過去進行形、There is [are] ...を用いた文の理解をもとに、過去の状態や気持ち、過去のある時点でしていたことなどについて伝え合ったり、たずねたり答えたりする技能を身につけている。</p> <p>☒</p>	<p>日常の出来事や行事での思い出を残すために、体験したことや感じたことについて、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて日記を書いている。</p>	<p>日常の出来事や行事での思い出を残すために、体験したことや感じたことについて、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて日記を書こうとしている。</p>
Unit 11	2月	<p>[知識] be動詞の過去形やThere is [are] ...、過去進行形を用いた文の形・意味・用法を理解している。</p> <p>[技能] be動詞の過去形やThere is [are] ...、過去進行形の理解をもとに、過去の状態や気持ち、過去のある時点でしていたことについて理解したり伝えたりする技能を身につけている。</p>	<p>一年の思い出を伝えあったり町の紹介をしたりするために、過去の状態や気持ち、町の施設などについて、簡単な語句や文を用いて伝え合ったり書いたりしている。</p>	<p>一年の思い出を伝えあったり町の紹介をしたりするために、過去の状態や気持ち、町の施設などについて、簡単な語句や文を用いて伝え合ったり書いたりしようとしている。</p>
Stage Activity 3	3月	<p>[知識] Unit 11までの学習事項を用いた文の形・意味・用法を理解している。</p> <p>[技能] 思い出に残った学校行事について、Unit 11までの学習事項を用いて発表する技能を身につけている。</p>	<p>好きな名人がどのような人かを伝えるために、その人についての質問をして答えたり、紹介する文章を書いたりしている。</p>	<p>好きな名人がどのような人かを伝えるために、その人についての質問をして答えたり、紹介する文章を書いたりしようとしている。</p>
具体的な評価の方法		<p>① 授業中に生徒の言語活動の取り組み状況を観察する。(思考・判断・表現、主体的に学習に取り組む態度)</p> <p>② 課題で提出した英文の評価をする。(知識・技能)</p> <p>③ Mini Activityの活動で使用したワークシートやノートで理解度や取り組み状況などを評価する。(知識・技能)</p> <p>④ Unit Activityの活動で使用したワークシートやノートで理解度や取り組み状況などを評価する。(思考・判断・表現)</p> <p>⑤ 本文の音読を評価する。(知識・技能、思考・判断・表現)</p> <p>⑥ 本文理解や言語活動の取り組み状況や理解度をパフォーマンステストで評価する。(知識・技能、思考・判断・表現、主体的に学習に取り組む態度)</p> <p>⑦ 本文の内容について聞いたり読んだりしたことやテーマの説明に用いられる語句や文法事項及び表現を理解しているかどうか、筆記テストをする。小テスト/中間・期末考査など(知識・技能、思考・判断・表現、主体的に学習に取り組む態度)</p> <p>⑧ 単元末に授業の活動のまとめとしてのプレゼンテーションで評価をする。(知識・技能、思考・判断・表現、主体的に学習に取り組む態度)</p>		

## 技術・家庭科（技術分野）1年生シラバス

### 1 技術分野の目標

技術の見方・考え方を働かせ、ものづくりなどの技術に関する実践的・体験的な活動を通して、技術によってよりよい生活や持続可能な社会を構築する資質・能力を育成する。

### 2 技術分野を学ぶ意義

生活や社会を支える技術を理解できるようになる。  
生活や社会の中で見つけた課題を解決する方法を考え、よりよい生活や持続可能な社会の構築に向けて工夫し創造できるようになる。

### 3 評価の観点について

観点	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
趣 旨	生活の中で利用されている技術の基礎的な理解を図るとともに、それらに関わる技能を身に付け、技術と生活や社会、環境との関わりについて理解できる。	生活や社会の中から技術に関わる問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、製作図等に表現し、試作等を通じて具体化し、実践を評価・改善するなど、課題を解決することができる。	よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、適切かつ誠実に技術を工夫し創造しようとしている。

### 4 主体的に学習に取り組む態度について

- ① 粘り強さ 例：技術の課題を粘り強く考え、あきらめずに解決しようと取り組むこと
- ② 技術を学ぶ意義 例：技術を実際の生活や学習に生かそうとしていること
- ③ 自らの学習の調整 例：課題解決の過程を振り返って評価・改善をしようとしていること

### 5 技術分野のアドバイス

- ① 技術に関わる原理・法則を自分の言葉で説明できるようにしましょう。
- ② 道具の安全・適切な使い方を自分の言葉で説明できるようにしましょう。
- ③ 技術の最適化の視点で考えましょう。

技術・家庭科（技術分野） 1年生 学習計画と評価基準について

節	学習回数	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
オリエンテーション	1～2回目			3年間の技術分野の学習に見通しを持って、主体的に取り組もうとしている。
生物育成の技術	3～10回目	<ul style="list-style-type: none"> <li>・育成する生物の成長、生態の特性等の原理・法則と、育成環境の調節方法等の基礎的な技術の仕組みについて説明できる。</li> <li>・安全・適切な栽培ができる。</li> <li>・生活や社会、環境との関わりを踏まえて、技術の概念を理解することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・技術に込められた問題解決の工夫について考えることができる。</li> <li>・問題を見いだして課題を設定し、育成環境の調節方法を構想して育成計画を立てるとともに、栽培の過程や結果の評価、改善及び修正について考えることができる。</li> <li>・技術を評価し、適切な選択と管理・運用の在り方や、新たな発想に基づく改良と応用について考えることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・主体的に生物育成の技術について考え、理解しようとしている。</li> <li>・よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりしようとしている。</li> <li>・よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、生物育成の技術を工夫し創造しようとしている。</li> </ul>
材料と加工の技術	11～35回目	<ul style="list-style-type: none"> <li>・材料や加工の特性等の原理・法則と、材料の製造・加工方法等の基礎的な技術の仕組みについて説明できる。</li> <li>・製作に必要な図をかき、安全・適切な製作や検査・点検等ができる。</li> <li>・生活や社会、環境との関わりを踏まえて、技術の概念を理解することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・技術に込められた問題解決の工夫について考えることができる。</li> <li>・問題を見いだして課題を設定し、材料の選択や成形の方法等を構想して設計を具体化するとともに、製作の過程や結果の評価、改善及び修正について考えることができる。</li> <li>・技術を評価し、適切な選択と管理・運用の在り方や、新たな発想に基づく改良と応用について考えることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・主体的に材料と加工の技術について考え、理解しようとしている。</li> <li>・よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりしようとしている。</li> <li>・よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、材料と加工の技術を工夫し創造しようとしている。</li> </ul>
具体的な評価の方法		・定期テスト・ワークシート・作品	・定期テスト・ワークシート・作品	・振り返り・授業観察

## 技術・家庭科（家庭分野）1年生シラバス

### 1 家庭科の目標

生活の基盤となる家庭や家族の機能を理解し、衣食住などの生活にかかわる基礎的・基本的な知識及び技術を習得する。

### 2 家庭科を学ぶ意義

家庭での生活の自立ができるようになる。  
家庭生活をよりよく豊かに創造しようとする能力と態度が育成される。

### 3 評価の観点について

観点	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
趣 旨	<p>知識：生活と技術について理解できる。</p> <p>技能：生活と技術に係る技能を身につけることができる。</p>	<p>思考：生活や社会の中から問題を見いだして課題を設定し解決策を構想することができる。</p> <p>判断：生活や社会の課題の解決策を実践し、評価・改善することができる。</p> <p>表現：生活や社会の課題の解決策の実践・評価・改善を表現することができる。</p>	<p>よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。</p>

### 4 主体的に学習に取り組む態度について

- ① 粘り強さ 知識及び技能を獲得したり、思考力、判断力、表現力等を身に付けたりすることに向けた粘り強い取り組みを行おうとする。
- ② 家庭を学ぶ意義 生活の自立に必要な基礎的・基本的な知識と技術を身に付ける。
- ③ 自らの学習の調整 粘り強い取り組みを行う中で、課題解決に主体的に取り組む、振り返って改善したりして生活を工夫し創造し実践しようとしている。

### 5 家庭の勉強アドバイス

- ① 学校で勉強した知識・技術は家で積極的に実践しましょう。
- ② レポート等、家庭生活に結び付いた宿題にしっかり取り組みましょう。

技術・家庭科（家庭分野） 1年生 学習計画と評価基準について

節	学習時期	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
4-1-1 ガイダンス 1章 日常生活の役割と調理と中学生の栄養の特徴	4月～5月	<ul style="list-style-type: none"> <li>生活の中で食事が果たす役割について理解することができる。</li> <li>中学生に必要な栄養の特徴が分かり、健康に良い食習慣について理解することができる。</li> <li>食品や調理器具などの安全と衛生に留意した管理について理解しているとともに適切にできる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の食習慣について学んだことを生活や学習に生かすことができる。</li> <li>調理の仕方、調理計画について学んだことを生活や学習に生かすことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>より良い生活の実現に向けて食事の役割と中学生の栄養の特徴について課題の解決に主体的に取り組み振り返って改善したりして、生活に生かそうとしている。</li> <li>より良い生活の実現に向けて、日常食の調理について、課題の解決に主体的に取り組み振り返って改善したりして、生活に生かそうとしている。</li> </ul>
4-2 2章 中学生に必要な栄養を満たす食事	6月～7月	<ul style="list-style-type: none"> <li>栄養素の種類と働きが分かり、食品の栄養的特質について理解することができる。</li> <li>中学生の1日に必要な食品の種類と概量が分かり、1日分の献立の立て方について理解することができる。</li> <li>材料に適した加熱調理のしかたについて理解しているとともに基礎的な日常食の調理が適切にできる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>中学生の1日の献立について学んだことを生活や学習に生かすことができる。</li> <li>調理の仕方、調理計画について学んだことを生活や学習に生かすことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>より良い生活の実現に向けて、中学生に必要な栄養を満たす食事について課題の解決に主体的に取り組み振り返って改善したりして、生活に生かそうとしている。</li> <li>より良い生活の実現に向けて、日常食の調理について、課題の解決に主体的に取り組み振り返って改善したりして、生活に生かそうとしている。</li> </ul>
4-3 3章 調理のための食品の選択と地域の食文化	9月～3月	<p>日常生活と関連付け、用途に応じた食品の選択について理解しているとともに適切にできる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>食品や調理器具などの安全と衛生に留意した管理について理解しているとともに適切にできる。</li> <li>材料にお適した加熱調理の仕方について理解しているとともに基礎的な日常食の調理が適切にできる。</li> <li>地域の食文化について理解しているとともに、地域の食材を用いた和食の調理が適切にできる。</li> </ul>	<p>日常の1食分の調理における食品の選択や調理の仕方、調理計画について学んだことを生活や学習に生かすことができる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>より良い生活の実現に向けて、食品の選択、日常食の調理と地域の食文化について主体的に取り組んだり振り返って改善したりして生活に生かそうとしている。</li> </ul>
具体的な評価の方法		<ul style="list-style-type: none"> <li>定期テスト・実技テスト・授業中の活動、発言・ワークやレポート等の提出物の内容・行動観察</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>定期テスト・授業中の活動、発言・ワークやレポート等の提出物の内容</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業中の活動、発言・ワークやレポート等の提出物の内容・行動観察・自己評価</li> </ul>

# 保健体育科1年生シラバス

## 1 保健体育科の目標

- ①運動の楽しさや喜びを知る
- ②運動をして体力をつけることの必要性を知る
- ③自分の課題を見つけることができるようになり、それを友達に相談したり解決できるように話し合ったりできるようになる
- ④試合や競争を通じて、公正に取り組むこと、仲間と協力すること、自分の役割、一人ひとりの違いを知る
- ⑤健康・安全について理解する、健康についての自分の課題に気づく

## 2 保健体育を学ぶ意義

心と体を一体として捉え、生涯にわたって心身の健康の維持やより良くできるようなスポーツライフを実現する

## 3 評価の観点について

観点	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
頑張っているらしい事	①各運動の特性や歴史、技の名称や行い方を理解できる ②高まる体力、健康・安全の留意点についての具体的な方法を理解している ③運動やスポーツの多様性、運動やスポーツの意義や効果と学び方や安全な行い方についての考え方を理解している ④運動の特性に応じた、基本的な技能を身に付けている	①自分や仲間の課題を発見する ②課題解決に向けて、運動の取り組み方や目的に応じた運動の組み合わせ方を工夫している ③自分や仲間の考えたことを友達や先生に伝えたり、発表したりすることができる(振り返りシート・ロイロノート・レポートに記入できている)	①健康・安全を確保して積極的、主体的に授業に参加しようとしている(出席・遅刻・忘れ物が影響) ②試合を行う時に、公正に行う事や仲間と協力したり、自分の役割を果たそうとしている ③自分の課題を見つけて、次の授業でよりよくするための工夫をしようとしている(振り返りシート・ロイロノート・レポートに記入できている)

## 4 主体的に学習に取り組む態度について

- ① 粘り強さ 例：健康・運動の自分の課題を粘り強く考え、友達と比較しながら諦めずに解決しようと取り組むこと  
例：苦手な種目にも積極的に取り組むこと
- ② 自らの学習の調整 例：課題解決の過程を振り返って、評価・工夫・改善をしようとしていること(振り返りシート・ロイロノート・レポートに記入できていること)

## 5 保健体育の勉強アドバイス

【単元別テスト・期末テスト・レポート】

- ①保健の教科書、保体資料ノートの内容を覚える
- ②種目のルールや何故その種目ができたのか(歴史)を覚える
- ③自分の課題を解決していくためにどうすればいいのか、レポートにまとめる

【実技】

- ①目標達成のために改善すべきポイントを意識しながら活動する
- ②ほかの人と比較するのではなく、自分がどのくらい上達したのか(タイムならどれだけ縮んだのか)を重視して活動する
- ③毎回安全かつルールを守り参加する

【学習計画】

	4月～	5月～	6月～	7月～	9月～	10月～	11月～	12月～	1月～	2月～	3月～
行う種目	異国行動 体づくり運動 1-3	体力テスト	陸上競技 (7レーン短距離走) バレーボール	水泳 体づくり運動 4-7	ダンス 器械運動		ソフトボール バドミントン	陸上競技 (長距離走)	武道 卓球	サッカー バスケットボール	
毎回の振り返りすること	集合・整列・ラジオ体操										
保健編	健康の成り立ちと疾病の発生要因 運動と健康 食生活と健康 休養睡眠と健康 調剤のとれた生活			体の発育発達 生殖機能の成熟 異性の尊重と性情報への対処 自己形成と心の健康				心と体の関わり 欲求と心の健康 ストレスによる健康への影響 ストレスへの対処の方法			
体育編	運動やスポーツの必要性と楽しさ			運動やスポーツへの多様なかわり方				運動やスポーツの多様な楽しみ方			



## 音楽科 1 年生シラバス

### 1 音楽科の目標

表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と豊かに関わる資質・能力を育成することを目指す。

### 2 音楽科を学ぶことの意義

- ・音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽を演奏したり聴いたりすることが好きになる。
- ・色々な音楽表現の豊かさや美しさを感じ取り、自分でも創意工夫して表現することができるようになる。
- ・美しい音楽を聴いて感動し、色々な音楽を自分から鑑賞することができるようになる。

### 3 評価の観点について

観点	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
趣 旨	<p>知識：音楽を表現・鑑賞するために、その背景にある仕組みや歴史等を理解することができる。</p> <p>技能：創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付け、歌唱、器楽、創作で表している。</p>	<p>思考：その音楽がなぜ美しいと感じたり感動したりするのかを考察することができる。</p> <p>判断：今の自分の現状を分析して課題を見つけ、その解決法を選ぶことができる。</p> <p>表現：より美しく感動的な表現をするために創意工夫をすることができる。</p>	<p>音や音楽、音楽文化に親しむことができるよう、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。</p>

### 4 主体的に学習に取り組む態度について

- ①粘り強さ(例):音楽科の課題を粘り強く考え、あきらめずに解決しようと取り組むこと。  
(例):自分の考えを更に深めるために、友達の見解も聞き、一緒に答えを導き出すこと。
- ②音楽を学ぶ意義(例):音楽科で学んだ事柄を次の学習や実際の生活に生かそうとしていること。
- ③自らの学習の調整(例):課題解決の過程を振り返って評価・改善をしようとしていること。

### 5 音楽科の勉強アドバイス

- ①授業での表現活動（歌唱や楽器演奏など）は、恥ずかしがらず積極的に、他の人の意見も参考にしながら行いましょう。
- ②必要な知識や技能が身につくまで、繰り返し練習し、学んだ内容を自分で使いこなせるようになるまで、粘り強く取り組みましょう

音楽科 1年生 学習計画と評価基準について

節	学習時期	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
楽典	4月～3月	様々な音符や休符、音楽記号など基礎的な名前や意味などを理解している。	それぞれの記号の特徴をふまえ、演奏でどのような表現がふさわしいか、生み出す効果について考える。	それぞれの記号の特徴に関心を持ち、ワークシートにまとめるなど主体的に学習活動に取り組もうとしている。
合唱曲に親しむ	4月～7月	・合唱を通じた音楽の美しさや感動を理解し、楽しみながら合唱することができる。	思いや意図を持ってその曲にふさわしい、創意工夫した合唱表現をすることができる。	主体的・協働的に恥ずかしながら合唱を通じた音楽表現に取り組もうとしている。
「春」	5月	「春」の曲想と音楽の構造や演奏形態、使用される楽器やソネットの内容を理解している。	「春」の演奏を鑑賞し、そこから生まれる感動の要因について考えることができる。	「春」が表す背景や情景及び曲の表情や味わいに関心を持ち、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。
リコーダー	5月～7月	アルトリコーダーの基本的な演奏技能を身につけ、簡単な曲を表現できる。	アルトリコーダーで美しい演奏をするために必要な要素を考え、創意工夫している。	アルトリコーダーで曲を演奏できる喜びを目指し、主体的・協働的に練習に取り組もうとしている。
学年・全校合唱	7月～11月	文化祭や津市音楽会で学年・全校で合唱発表するために必要な美しい発声、正しい音程での歌唱などの技能を身に付け、表現している。	現状に対して、より美しく感動的な合唱表現をするために必要な要因を考え、創意工夫することができる。	学年・全校合唱の練習に対して、パートやクラスで主体的・協働的に参加しようとしている。
魔王	10月	「魔王」の曲想と音楽の構造や歌詞の内容とのかかわりを理解している。	「魔王」の演奏を鑑賞し、そこから生まれる感動の要因について考えることができる。	「魔王」の歌詞が表す背景や心情及び曲の表情や味わいに関心を持ち、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。
日本の歌曲	11月～12月	「赤とんぼ」「浜辺の歌」の曲想と音楽の構造や歌詞の内容とのかかわりを理解している。またこれらの曲を美しく感動的に歌うために必要な発声や身体の使い方などの技能を身に付け、歌唱で表現している。	「赤とんぼ」「浜辺の歌」を現状に対して、より美しく感動的な合唱表現をするために必要な要因を考え、創意工夫することができる。	「赤とんぼ」「浜辺の歌」の曲の背景の理解や歌唱練習に対して、主体的・協働的に取り組もうとしている。
箏	1月	箏演奏する技能を身に付け、「さくらさくら」のメロディを演奏することができる。	箏を演奏するために必要な技法を考え、創意工夫することができる。	箏の練習に対して主体的・協働的に取り組むことができる。
日本の伝統音楽	1月～2月	箏曲「六段の調」の曲想と音楽の構造や、箏の構造や演奏法について理解している。	「六段の調」の演奏を鑑賞し、そこから生まれる感動の要因について考えることができる。	「六段の調」の鑑賞活動や、その背景の理解について、主体的に取り組むことができる。
卒業式	1月～3月	卒業式における「君が代」「校歌」「式歌」の意味を理解し、それらを美しく感動的に演奏することができる。	現状に対して、より美しく感動的な合唱表現をするために必要な要因を考え、創意工夫することができる。	曲の背景の理解や歌唱練習に対して、主体的・協働的に取り組もうとしている。
具体的な評価の方法		行動観察、発言、発表、ワークシート、ロイロでの振り返り、実技テスト、定期テストなど	発言、発表、ワークシート、ロイロでの振り返り、実技テスト・定期テストなど	行動観察、発言、発表、ロイロでの振り返り、ワークシート、実技テストなど

# 美術科 1年生 シラバス

## 1.美術分野の目標

美術の幅広い活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の美術や美術文化と豊かに関わる資質・能力を育成を目指す。

## 2.美術の分野を学ぶ意義

- ・生徒の学習を積極的に評価し、学習全般の意義や価値を実感できるようになるため。
- ・生徒自身が自分の学習や仕事の見通しをたてられるようになるようにし、学習や仕事の過程や成果を評価し、自身で改善や学習意欲の向上を図り資質・能力の育成に活かすようにできるようになること。
- ・生徒自身で創意工夫し、自身の学習の成果が円滑に接続されるように工夫することができるようになること。

## 3.評価の観点について

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	<p>知識：対象や事象を捉える造形的な視点について理解することができる。</p> <p>技能：意図に応じて表現方法を工夫して表すことができる。</p>	<p>思考：自然の造形や美術作品などの造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫、機能性と美しさの調和、美術の働きなどについて考えることができる。</p> <p>判断：主題を生み出し豊かに発想し構想を練ることができる。</p> <p>表現：豊かに発想し構想を練り、美術や美術文化に対する自分なりの見方や感じ方を広げることができる。</p>	<p>美術の創造活動の喜びを味わい、感じ取ったことや考えたことを基に表現活動に取り組もうとしている。他の人の作品や美術作品の鑑賞活動に進んで取り組み、美意識を高め、見方や感じ方を広げることができる。</p>

## 4.主体的に学習に取り組む態度について

- より良い表現を目指して構想を工夫改善すること
  - 例 アドバイスなども聞きつつ、自分のアイデアをより良くすることを考え、取り組む
- 粘り強く取り組む態度が感じられること
  - 例 決められた時間の中で、創意工夫しながら良い作品(良い考え)になるように取り組む
- 美術の知識及び技能を使い、創造活動の喜びを感じ取っていることが確認できること
  - 例 わかったこと、できたことなどに楽しく取り組む。
  - 例 授業中や学校や社会の中で、作品などを楽しく鑑賞することができる

美術科 1年生 学習計画と評価基準について

	教科書見出し	学習時期	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
全体 と準備	へ 美術の 世界	4 月	知識：作品や作家と出会い、これらの表現活動に意欲を持つ。	発想：作品や作家と出会い、美術を学ぶ楽しさや自らの新しい見方や価値観を創り出し表現活動していくことに意欲を持つ。	態度表現：取り組むべき課題に対し、美術の観点から主体的に取り組もうとしている。
絵画・彫刻など	見つめ、感じ取り、描く	4 ～ 5 月	知識：造形的な特徴をもとに、身近なものを全体のイメージで捉えることができる。 技能：鉛筆などの描画材料の生かし方などを身に付け、意図に合わせて工夫して表している。	発想：身近なものを見つめ、感じ取った特徴を捉え、全体と部分との関係などを考え表現している。 鑑賞：友達の作品の造形的なよさを感じ取り、作者の表現の意図と工夫について考えることができる。	態度表現：美術の創造活動の喜びを味わい、楽しく身近なものを描く表現の学習活動に取り組もうとしている。
デザイン・工芸など	人権ポスターを描く	5 ～ 7 月	知識：形や色彩、構成や配置などが見る人に与える効果や、気持ちを伝えるデザインの仕組みを理解している。 技能：絵の具の生かし方などを身に付け、工夫したり手順を組み立てることができる。	発想：伝える相手や場面などからテーマを生み出し、形や色彩のバランスなどを総合的に考え、アイデアを練ることができる。 鑑賞：作者の伝えたい内容を考え、伝えたいことや工夫などについて考える見方や感じ方を深めようとしている。	態度表現：ひと目で分かるポスターのアイデアを練ったり、自分の表現方法を考え、制作計画をたて、創造的に表したりしようとしている。 態度鑑賞：美しさなどを感じ取り、作者の表現したかったことや工夫などについて発見し感じ取ろうとしている。
鑑賞	様々な表現を味わう	7 月	知識：かたちや色や様々な要素が、暮らしにもたらす効果や、造形的よさや美しさ、印象をつくりあげていることを理解している。	鑑賞：日本及び諸外国の文化遺産などから、よさや美しさなどを感じ取り、人々の願いや、作者の思いと表現の工夫、美術文化について考え、見方や感じ方を広げようとしている。	態度鑑賞：人々の願いや、作者の意図と表現の工夫、美術文化について考えるなどの見方や感じ方を広げる鑑賞をしようとしている。
絵画・彫刻など	暮らしをいろいろとる文様	9 ～ 1 1 月	知識：文様の形や色彩、構成などが見る人に与える効果や、造形的な特徴をもとに、文様を全体のイメージで捉えることができる。 技術：制作手順を考え、材料や用具の生かし方を工夫して、連続する模様を考えている。	発想：身の回りのものなどからイメージを広げることで主題を生み出し、調和のとれた美しさなどを考え、表現の構想を練っている。 鑑賞：表現の工夫や文様に込められた思いを考えるなどしながら、見方や感じ方を広げようとしている。	態度表現：美術の創造活動の喜びを味わい、楽しく形や色彩、構成を工夫して文様をつくろうとしている。 態度鑑賞：日本や諸外国の文様に込められた願いや生活との関わりなどを考え、官署の学習活動に取り組もうとしている。
鑑賞	友達の作品鑑賞	1 2 月	知識：かたちや色彩の構成などが見る人に与える効果や、作品を全体のイメージや作風で捉えることを理解している。	鑑賞：作品のよさや美しさを感じ取り、構図や色彩から作者の心情や表現したかったことと工夫などについて考えようとしている。	態度鑑賞：作品のよさや美しさを感じ取り、構図や色彩、作者の思いや工夫などについて考え、感じ方を広げる活動に取り組もうとしている。
鑑賞	風神雷神図屏風	1 月	知識：屏風の構図、彫刻の表情、動きの効果や、構造的な特徴をもとに、日本の美術文化の特徴を全体のイメージや作風で捉えることを理解している。	鑑賞：作品のよさや美しさを感じ取り、構図や色彩、作者の心情や工夫などについて考え、日本の美術文化について見方や感じ方を広げようとしている。	態度鑑賞：よさや美しさを感じ取り、先人たちの作品を通して見方や感じ方を広げ、鑑賞の学習に取り組もうとしている。
デザイン・工芸など	文字で楽しく伝える	1 ～ 3 月	知識：文字のデザインの形や色彩、構成などが見る人に与える効果を理解している。 技術：意図に応じて、材料や用具を工夫し、制作の順序を考え、見通しを持って表している。	発想：伝える相手や伝えたい内容などをとらえ、主題を生み出し、わかりやすさや美しさなどの調和を考え、表現の構想を練っている。 鑑賞：デザインされた文字から、伝達の効果や美しさなどを感じ取り、作者の表現の構図や工夫、生活の中のデザインの役割や動きについて考えるなどして、見方や感じ方を広げている。	態度表現：美術の創造活動の喜びを味わい、楽しく形や色を工夫して文字をデザインする表現の学習活動に取り組もうとしている。 態度鑑賞：文字のデザインに込められた表現の意図や工夫を感じ取る鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。
tuk			作品・制作過程のすべて・ワークシート・発言・定期テスト	作品・制作過程のすべて・ワークシート・発言・定期テスト	作品・制作過程のすべて・ワークシート・発言

## 特別支援学級について

特別支援学級では、生徒の実態に合わせて下記のような学習を行います。

### ① 「自立活動」

ねらい

個々の生徒が自立を目指し、障がいによる学習や生活上の困難を主体的に改善したりそれに対して対処する方法を身に着けるために、必要な知識・技能・態度及び習慣を養い、心身の調和的発達を基盤を養う。

例：体力向上、コミュニケーション活動、ソーシャルスキルトレーニング、ビジョントレーニング、認知トレーニング、活動の見通しをたてる時間など。

### ② 「生活単元学習」

ねらい

生徒が、生活上の目標を達成したり、課題を解決したりするために、一連の活動を組織的に経験することによって、自立的な生活に必要な事柄を学習する。

例：園芸、手先の緻密性を高める作業学習、創作活動、調理実習など

### ③ 「教科学習」

ねらい

社会に出て、最低限必要な学力を身につける。

例：体験学習などを通して、経験を積み重ね、生活に即した学力をつける。

こくさいきょうしつ  
Q: 国際教室ってどんなところですか？

⇒ A: 外国につながる生徒のみなさんのための場所です。

### 1. 日本に来て間もないみなさん

日本に来たばかりのみなさんには、日本語の授業はもちろん、教科の勉強の支援や母国では学んでいない学習内容の補習、学校生活や行事の事前学習、文化や習慣の違いによる悩み相談など、安心して東橋内中学校で過ごせるためのサポートを幅広く行っています。

### 2. 日本での生活が長いみなさん

日本の生活に慣れていて、日常生活の日本語にはあまり困っていないけれど、教科の勉強の日本語に困り感がある生徒のみなさんには、普通教室での授業のサポートを行っています。



### 3. 日本語能力試験への対応

国際教室では日本語を母語としない生徒のみなさんを対象に、日本語能力を測る「日本語能力試験」の対策も行っています。「日本語能力試験」に合格すると、学校での単位・卒業資格認定や、企業での優遇、社会的資格認定などさまざまなメリットがあり、将来日本の企業で働きたいと思っているみなさんには受験を強くおすすめしています。レベルはN1（幅広い場面で日本語を使うことができるレベル）からN5（基本的な日本語をある程度理解することができるレベル）までの5つで、本校に在学している間には、N3（日常的な場面で使われる日本語をある程度理解できるレベル）を取得することが目標です。今からチャレンジすることで、自分の将来にぜひつなげてください。



国際教室は、勉強だけではなく、外国につながるみなさんが

困ったときに頼れる場所です。

困ったことがあればぜひ、国際教室に来てください。

おわりに

この「学習の手引き」を大いに活用し、より充実した学習活動を自主的に展開してくれることを期待しています。そして、これからの進路選択や人生選択において、「自己実現」し、最適な道を見つけ出す力を身に着け、輝く未来に歩み出してくれることを願っています。

## 学習の手引き

---

令和8年5月12日 第1刷発行

---

発行所 津市立東橋内中学校

津市中河原 356 番地 2

TEL 059-228-2624

FAX 059-228-2628

E-mail [j2282624@res-edu.ed.jp](mailto:j2282624@res-edu.ed.jp)